

一般演題6 O6-2

当院における高気圧酸素治療による放射線障害の軽減効果について

甲斐雄多郎 今林和馬 後藤陽次朗

灘吉進也

社会医療法人共愛会 戸畑共立病院 臨床工学科

【背景】

放射線治療は、がんの根治、症状の緩和のために施行され、正常細胞まで照射されるため放射線障害が問題となる。頭頸部がんは、総線量が高く(66から70Gy)皮膚炎や骨髄炎をきたす可能性がある。当院では、がん集学的治療の一環として放射線増感効果を目的にHBOを施行している。

【目的】

HBOによる放射線障害の軽減に関する報告は、散見される程度であり、本邦では、軽減効果の目的としては認められていない。当院での、放射線増感効果を目的として、HBOを施行している患者の放射線障害の軽減効果について後ろ向きに検討した。

【方法】

2016年10月から2018年12月までの放射線治療にHBOを併用した頭頸部腫瘍(総線量40Gy以上)の患者40名を対象とした。放射線治療完遂直後の皮膚炎のGrade、口内炎と口内出血の有無、治療完遂後90日以降の放射線障害の発生率、治療完遂直後の腫瘍奏効率について調査した。

【結果】

結果：皮膚炎(Grade)

Grade	人数	割合
無	21名	52%
1	12名	30%
2	6名	15%
3	1名	3%

[n=40]

結果：口内炎・口内出血

項目	評価	人数	割合
口内炎	無	33名	83%
	有	7名	17%
口内出血	無	40名	100%
	有	0名	0%

[n=40]

結果：治療完遂後90日以降

項目	評価	人数	割合
皮膚潰瘍	無	39名	98%
	有	1名	2%
骨髄炎	無	40名	100%
	有	0名	0%

[n=40]

結果：治療完遂直後の腫瘍奏効率

項目	評価	人数	割合
腫瘍奏効率	CR	2名	5%
	PR	29名	73%
	SD	9名	22%
	PD	0名	0%

[n=40]

【考察】

当院での放射線治療の増感効果を目的とした放射線治療直前にHBOを施行する方法は、放射線障害の軽減効果を期待できることが示唆された。

集学的治療として高い奏効率と放射線障害の重症化を抑えることができる。先行研究では、放射線障害の発症は97%と報告されており、当院の結果はそれを凌駕したものであった。今回、化学療法併用における影響は検討していないが、それを考慮したとしてもHBOによる放射線障害の軽減効果が伺えた。HBOによる放射線障害の軽減効果は、患者のQOLに大きく貢献することから大変意義のある治療法と考えられた。

【結語】

本邦では放射線障害の軽減目的では、認められていない。当院では、放射線増感を目的に放射線治療の直前に、HBOを施行している。HBOは、放射線障害の軽減効果と高い奏効率を得た。放射線障害の軽減効果は、患者のQOLに大きく貢献することから、大変意義のある治療法と考えられた。今後、症例を重ね、HBOによる放射線障害の軽減効果を検討していく必要がある。